めいろうこどもえん 4月園だより

２０１６年度 年主題 〈平和をともに〉

0・1・2歳児４月主題 「安心して」

月のねがい

◎保育者を通して祈ることを知る
◎新しい環境や保育者に出会い、親しみを感じる
◎一人一人が安心して過ごす
◎保育者に見守られて好きな遊びを見つける

3・4・5歳児４月主題 「安心」

月のねがい

◎礼拝と祈りによって、神様とイエス様に出会う
◎保育者に受け入れられていることを感じ、安心して過ごす
◎気に入った場所や遊具が見つかる
◎保育者と保護者が信頼関係を築く

今月の聖句 「へいわをつくるものはさいわいです。」 マタイ 5：9

平和を望まない人はいません。自分自身の心の平安、家庭の平和、国の平和、世界の平和、いずれも大事なことです。特に家庭の平和は幼子の成長にとって無視できません。父母、祖父母、兄弟姉妹が仲良く過ごす家庭は、幼子の育ちの環境とし好ましいことです。逆に父母がいつも喧嘩をし、祖父母嫁舅が争い、兄弟姉妹が兄弟喧嘩や親子喧嘩をする家庭では、幼児の心が傷つき、落ち着きのない性格になります。やがてその子が親となった時、幼児期に体験した争いを繰り返します。

さて、こんなにも大事な平和は個人に、家庭に、地域に、国に、世界に実現しているでしょうか。「道遠し」の感です。夫婦と言えども個性ある個人ですから、考えや価値観の違いがあり、個性と個性が折り合うことなくぶつかり合うところに争いや戦争が起こります。国と国、世界のあちこちの争いは枚挙に暇なしです。では、違いある個人が平和になる秘訣は何でしょうか。それは相手に求めることではなく、自分が平和の提供者になるほかありません。人間すべからく自己優先を主張します。「我」が第一です。自分は擁護し、他は排斥する。負けることが嫌いで、勝ちたい。これでは平和は成就しません。平和は他を建て、自分を抑える人間関係から生まれます。自分のなかに平安があれば、平和はおのずから成就します。

前理事長　池田公榮

４月の行事予定

７日（木）	始園式(1号:午前保育)
１１日（月）	第５９回入園式 （２・３号児弁当）
12~15日	新入園児午前保育(1号)
１４日（木）	田植え
２８日（木）	交通安全教室

５月の行事予定

７日（土）	親子遠足，父母会総会
９～２０日	家庭訪問
１２日（木）	４・５月誕生会
１９日（木）	給食試食会(たんぽぽ)
〃	内科検診
２０日（金）	給食試食会(こすもす･すみれ)
25・26日	消防署見学

新入園の保護者の皆様へ

初めてお母さんと離れての新しい生活は、入園当時の幼児にとっては、とても大変なことです。幼児たちが慣れるまで１週間ほど、疲労を考えて午前保育となります。帰宅しましたら、矢継ぎ早に園の様子を聞くのではなく、お子さんが落ち着いてから少しずつ聞いてください。分からないこと、不安に思うことがありましたら、気軽に職員に声をかけて、お子さんの様子などお聞きください。

また、睡眠も十分にとって、朝も、「いっぱい遊んでおいでね！」と送り出してあげてください。お子さんの体調や心配事など遠慮なく、連絡帳や電話で担任にお知らせくだされば幸いです。

ようこそ!めいろうこどもえんへ

今年度もいよいよスタートしました。3月に卒園生の別れがあり、なんだか寂しい日々でしたが、入園してきたお友だちとの新しい出会いもあり、少し元気が出てきたこども園です。

さて、3月にキリスト教保育連盟の研修会がありました。森の案内人の写真家“小西貴士”先生による子どもたちの写真とエピソードを交えながらの講話は、自分の保育を振り返る良い機会を与えられました。子どもたちの行動の一つ一つを大人目線ではなく、子どもたちの目線に合った声掛けを心がけることの大切さを考えさせられた時間でした。

その研修会から帰ってきた自分の机に一通の置き手紙がありました。今年、お引っ越しする年長の女の子からでした。「1ねんせいになってもめいろうぱわあでがんばるね。だいだいだいすーき」誰も知らないところでお友だちをつくったり、新しい生活リズムを整えたり…小さい体で頑張る姿を想像すると、思わず涙が出そうでした。めいろうこども園に入る子どもたちも、在園生もみんな新しい環境です。一日も早く居心地の良い場所ができるよう、心を込めて子どもたちを支えてあげなければなりません。至らない所ばかりだと思いますが、楽しいこと大好き！こどもたち大好き！元気だけが取り柄！(笑)のめいろう職員です。どうぞ一年間宜しくお願い致します。

森　山

二〇一六年度を迎えて

今年は、園庭のツツジが既に満開を迎えています。葉を落としていたセンダンやケヤキにも新芽が顔を覗かせ始めています。寒暖の差が激しかった時が過ぎ、時に初夏かと思わせるような陽気に包まれて、新緑の香りを乗せた風が心地よく吹き渡ります。いよいよ四月を迎え、また新しい一年の歩みが始まります。ご入園・ご進級おめでとうございます。保護者の皆さまには、希望あふれる春を喜びの内にお過ごしのことと存じます。卒園生を送り出し、暫く寂しい思いをしておりましたが、今年も愛らしい子どもたちとの出会いを与えられ、喜びと感謝でいっぱいです。

本年度は、「子ども・子育て支援新制度」が始まり二年目を迎えます。昨年度の実践を通して、保育や行事のあり方、職員の処遇及び勤務体制、安全対策や環境整備などの見直しや課題に取り組む機会を与えられました。本年度も気持ちを新たに、「すべての幼子たちに幼児教育を！」との思いで、認定こども園として一層研鑽を深めて参ります。

念願の「シオンヴィレッジ」の建物が三月に完成しました。在園児の体験活動、親子活動、未就園家庭の子育て支援、放課後学童支援、地域交流、保護者の自主活動の拠点…。これからの認定こども園の姿を思い描いて建設を決心しました。建物はできたものの、中身の魂を入れる作業はこれからです。様々な課題を乗り越えて、夢に向かって挑戦していきたいと思っています。本学園の建学の精神である「敬神愛人」「探求・感謝」には、人間形成の基礎を培うべく心を育てたいという願いが込められています。遠い将来の準備ではなく、幼いときにこそ経験しなければならないものがあるのではないでしょうか。子どもたちが自分で発見するモノや動植物たち。考えながら創り出していく遊びの数々。不思議だなと感じること。明日もまたやりたいという意欲や探究心を何よりも私たちは守らなければなりません。キャッチフレーズは、**「タイケン・タイケン・タイケン」**です。家庭では味わうことが少ないダイナミックな体験。未知の世界へ興味・関心を寄せる探検。そして、人としての成長に欠かせない困難や挫折を伴う大変な思い。

集団生活を初めて経験する子どもたちにとって、園生活は期待と不安の混じったものでしょう。そのような中で、あるがままの自分が受け入れられ、大切にされていると感じる時、子どもたちは心から**『安心して』**日々過ごせるでしょう。神さまに生かされて、〝自分〟をしっかりと生きていけるよう祈りつつ、保護者の皆様と共に心を込めて寄り添っていきたいと考えております。五十九年目を迎える本年度も、職員一同心を尽くして努力して参りますので、ご支援の程を宜しくお願いいたします。

園　長

キリスト教保育とは

乳幼児期は人間の生涯の基礎が形成される時期で、この時期に培われたものが生涯の生き方の基板となると言われています。この大切な時期の子どもたちの成長に関わりを持つ保育者として、使命の重さを思わずに入られません。

キリスト教保育では、子どもも大人も神によって創造され、生命を与えられた、一人ひとりがかけがえのない存在であり、神の恵みの中に生かされていると考えられています。

目に見えない神の愛を子どもたちに知らせるのは大変難しいことですが、キリスト教保育を通して、見えない神の恵みを感じ、神の導きに信頼して幼児なりの思いを持つことができるようになるのです。

乳幼児期は親や保育者のあたたかな愛ある養護を受けることによって、信頼感が芽生え安定します。このような安定感は、集団生活での友だちや周囲の大人たちとの人間関係にも影響し、人に愛され受入れられていることによって、互いに愛し合う交わりの世界を経験し、神の愛を知る素地が養われていきます。

キリスト教保育の目的は、神に愛されている自分を知り、神の愛に応答して生きるものとなると共に、他者もまた神の愛される存在であることに気づき、よき隣人として生活できるようになることであり、「生活のすべてを通して伝えられていく」ということができます。

抜粋
『新・キリスト教保育者必携』より

新制度における注意点

○１号認定こども：３歳以上の教育標準時間利用のこども
２号認定こども：３歳以上の保育標準時間利用及び保育短時間利用のこども
３号認定こども：３歳未満の保育標準時間利用及び保育短時間利用のこども

○保育料・・・各家庭の市民税所得割額に対応した利用料となります。１号認定では小学校３年までの兄姉がいる場合は、在園長子は半額、在園次子は無料となります。２号・３号認定では、在園児のみの次子から半額、無料となります。

○給食費
１号認定は給食実費全額、２号認定は主食分の実費が必要となります。

○一時預かり（幼稚園型）
市の「地域子ども・子育て支援事業」としての従来幼稚園で実施していた在園児の預かり保育です。

○満３歳児の扱い
満３歳到達前に２号もしくは３号の選択確認手続きをしていただきます。

○３号に認定されない３歳未満児の預かりは、従来どおり認可外施設（ひかりのこクラブ）での実施となりますが、最低基準の範囲内での受入れとなります。

○放課後児童クラブ
小学校１年生から６年生までの学童に対する放課後健全育成活動を市より委託されています。２０名定員。

めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん

めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん